

今度は日本でしか発売されていないnew3DSで、Ver. 9.1.0-20Jです。起動しているバックアップROMも日本リージョンのもので、Sky3DS同様Flashart本体にあるボタンを押してROMの切替を行っています。LEDの色も青でSky3DSと一緒にですね。

<https://www.youtube.com/watch?v=0fpWMD-cTzs>

これはVer. 9.0.0-20Uの北米版3DS XLです。普通にeショップに接続できています。いつ撮影したのかわかりませんが、いくら何でも旧ファームウェアのままゲームのアップデートがeショップでダウンロードできるということを示したデモではないはずなので、おそらく9.2.0-20Uがリリースされる前に撮影したのではないのでしょうか。

これらの動画を見る限り、[R5SDHC本体](#)に何のシール等も貼っていないシェルであることや発表のタイミングゲーム10個までしか対応していない点、からしてどう考えてもSky3DSのクローンです。

まあ、どれが正真正銘の本物なのかよくわかりませんが、そもそもSky3DS自体がクローンとか。

R5SDHCについてのGBATempフォーラムに、気になることが書いてありました。ゲーム10個制限についてです。

Sky3DSの時にカタログ化、と表現しましたがR5SDHCも同様に「10までのゲームスロット」があり、R5SDHCは内部メモリにゲームタイトルを1つ1つ記録して行き、最大10個まで記録することができるそうです。microSDカードが何枚あろうともトータルで記録できるゲームの数は10個まで。つまりmicroSDにいくつゲームが入っていようとも最大で10個までしか記録できないため、例えばその10個をmicroSD3枚に分けて入れる時には

- “1つのゲームが入ったmicroSD1枚”
- “3つのゲームが入ったmicroSD1枚”
- “6つのゲームが入ったmicroSD1枚”

としても、その3枚のmicroSDカードのバックアップゲームは起動できるそうです。

